

# 守谷ボランティア NEWS

2025 年 12 月号（毎月 1 日発行）



<発行> 守谷市民活動支援センター  
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘 5 丁目 25 番 1  
守谷市市民交流プラザ 2 階  
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320  
Email：supportcenter@moriya-cac.org  
ホームページ URL：https://moriya-cac.org/  
開館時間：午前 9 時～午後 5 時（午後 8 時まで延長可）  
休館日：月曜日、年末年始

## テニピン体験講座

テニピンとは、テニスとピンポンが一緒になったゲームです。世界で一つのマイラケットでテニピンを楽しみませんか。

- 内容 ・テニピン（テニス+ピンポン）の紹介  
・マイラケットを手作りしよう ・体験しよう
- 日時 令和8年1月17日(土) 12:30～受付／13:00～15:00
- 会場 市民交流プラザ 市民ギャラリー
- 対象 小学生のグループ、小学生の親子グループ
- 参加費 無料 ●定員 先着15グループ
- 講師 キョッピー（テニピン普及促進会）
- 持ち物 タオル、飲み物、運動靴、動ける服装
- 申込方法 2026年1月10日(土)までに窓口またはQRコードから  
申込み
- 共催 テニピン普及促進会、市民活動支援センター
- 申込・問合せ先 市民活動支援センター



## Canva で楽しく簡単チラシ作り講座

アプリを使った初心者向けの講座です。  
イベント等のチラシを作ってみたいと思っている方、是非ご参加ください。

- 日時 2026 年 1 月 31 日(土) 10:00～12:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 定員 先着 12 人
- 持ち物 パソコン、スマートフォン
- 参加費 無料
- 申込方法 12 月 17 日(水)以降に窓口または  
QR コードから申込み
- 主催・申込・問合せ先 市民活動支援センター



## 守谷の自然を楽しみませんか？ ～守谷ネイチャーライフ写真展～



守谷ネイチャーライフでは市内に広がる自然を観察し、見つけた植物や鳥などの写真を撮ってホームページで紹介しています。今年一年撮り溜めた写真の中から、私たちが感動したシーンを集めて写真展を行います。

- 日時 2026年1月13日(火)～1月20日(火)
- 会場 市民活動支援センター フリースペース
- 主催・問合せ先 守谷ネイチャーライフ  
倉津 ☎090-6566-9065

## 視覚障がい者の安全な歩行を支えるために

守谷市視覚障がい者協会では、視覚障がい者や高齢者、小さなお子さんが安全に道路を横断できるよう、音響信号機の設置を取手警察署へ要望しています。

現在、市内でも通行量の多い国道294号線の3か所を優先設置候補として進めていますが、設置費用の不足により、早期の設置が難しい状況です。そのため守谷視協では、50年にわたり視覚障がい者支援を続けるニッポン放送チャリティー募金活動に協力し、市内商店に募金箱の設置協力をお願いしています。

市民の皆さまからお寄せいただいた募金は、音響信号機の設置など視覚障がい者の安全確保に役立てられます。

- 募金機関：11月1日(土)～令和8年1月31日(土)  
皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。
- ※募金箱設置に協力いただける市内商店も募集しています。
- 問合せ先 守谷市視覚障がい者協会 永嶋  
☎ 080-3465-8722 ✉ akinaga513@yahoo.co.jp

## 登録団体活動情報 12月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
楊名時太極拳守谷同好会ボランティア部	みずき野中央公園（雨天中止）	毎週火曜日 10:00～11:30	市民活動支援センター
	守谷中学校	毎月第1月曜日 10:00～11:00	
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	中央公民館	第4土曜日 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

## 助成金情報

\* 内容は変更になる場合があります。  
各 HP をご確認ください。

社会 教育	～12/1 2026 年展覧会・公演等開催費用の助成 公益財団法人 日本社会福祉弘済会 https://www.nisshasai.jp/index.html
環境	～12/15 エフピコ環境基金 株式会社 エフピコ https://www.fpco.jp/
医療・ 福祉	～12/15 2026 年度 日社済「社会福祉助成事業」 公益財団法人 日本社会福祉弘済会 https://www.nisshasai.jp/index.html



「地域のウェルビーイング」とは、住民一人ひとりが心身ともに健康で、安心して自分らしく暮らせる状態を地域全体で支えることを指します。その実現には、行政だけでなく、市民・企業・団体が協力し合う市民協働が欠かせません。富山県南砺市では、行政計画の目標を「人口の増加」ではなく「幸せ人口の増加」と定め、住民の主観的幸福度を測定しながら、地域活動や世代間交流の支援を行っています。市民が自らの生きがいやつながりを見つけることで、地域全体の満足度や活力が高まりました。このように、市民協働によって地域の多様な力を結集し、「暮らしの質」を高めていくことこそが、地域ウェルビーイングを実現する大切な鍵となっています。



## こんにちは！守谷のボランティアさん

### 「守谷市国際交流協会」MIFA 活動取材してきました

2025 年 8 月 2 日(土曜) 13 時 00 分～16 時 00 分 @国際交流研修センター

守谷市国際交流協会(MIFA)は、市民主体で国際交流を推進するため、1989 年に設立された団体です。外国人住民や留学生との交流を通じて、世界に開かれた守谷市の実現を目指しています。

今回は「アスジャの留学生と交流しよう」という企画の一環として、守谷市国際交流研修センターで行われた日本文化体験取材しました。

アスジャ(ASJA)とは、ASEAN(アセアン)各国から選抜された国費留学生を日本に受け入れ、日本での学びを通して将来の国際的な人材を育成する制度です。

当日の参加者は女子留学生の皆さんでした。日本文化体験は書道からスタート。会場には複数の手本が並び、留学生たちは好きな一文字を選んで挑戦しました。MIFA には大学生ボランティアも多く参加しており、この日も会場準備から体験のサポートまで

は皆さんとても美しく、嬉しそうに写真を撮り合う様子も見られました。

続いて折り紙、お琴の演奏体験、そしてお茶の作法へと進み、初めて触れる日本文化に留学生たちは目を輝かせていました。

「お抹茶を点てるのは難しかったけど、自分で点てたお茶はとても美味しかった」「浴衣を着て体験できてテンションが上がった」といった感想も聞かれました。建築工学を学ぶ留学生からは「日本で学んだことを将来、母国でも生かしたい」と力強い将来の展望も語られました。



積極的に動いていました。また留学生と同世代ということもあってすぐに打ち解け、筆の持ち方から運び方まで丁寧に教えていました。「シュツ」という掛け声に合わせて筆を下すときの楽しげな表情がとても印象的でした。

書道を終えた留学生から順に別室で浴衣の着付けへ。ボランティアが一人ひとりに合わせて着付けを行い、髪型もアップスタイルに整え、髪飾りを添えて華やかな姿に仕上げていました。浴衣姿の留学生

会場は終始、笑顔と拍手に包まれ、留学生とボランティアが自然に打ち解け合う温かな雰囲気。

担当者の次の言葉が特に心に残りました。「受け入れに必ずしも高い語学力は必要ありません。カタコトでも大丈夫。留学生も日本語を学びたくて来ているので、日本語での交流で十分です。語学が得意な人だけでなく、“おにぎりを上手に握れる人”こそ、国際交流に必要なのです。」



ボランティアの温かなおもてなしが随所に感じられ、参加者全員が笑顔で充実した時間を過ごした素晴らしい交流会でした。